



企業と生物多様性セミナー

日時

2014年

2月18日(火)

14時~16時30分

場所

東京情報大学
千葉ステーションキャンパス
(裏面地図参照)

対象

県内に工場・事業所がある企業関係者 70名 (参加無料)

主催

千葉県
一般社団法人千葉県環境保全協議会
一般社団法人千葉県経済協議会

後援

東京情報大学

申込・問合せ

事前申込制：千葉県自然保護課生物多様性センター企業セミナー担当宛に下記の必要事項を記載の上、メール又はFAXで、お申込み下さい。
締切り: 2月12日(水)(必着)
hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp
Tel 043(265)3601
Fax 043(265)3615

第12回 事業活動と生物多様性保全との関わり



企業の事業活動は、直接的に又は間接的に生物多様性の恵みに支えられています。その中でも、生物資源を利用する業種では、持続可能な利用のもとに、事業活動を通して生物多様性の保全、そして持続可能な社会の実現に貢献することになります。

今回は、こうした視点から生物多様性の保全に取り組んでいる味の素グループの先進的な取組について、味の素(株)の杉本信幸氏に御講演をいただきます。

セミナー内容

◆講演

味の素グループの生物多様性への取組み ~ “いのちのために働く。”

味の素(株) 環境・安全部 兼 CSR部
専任部長 杉本 信幸氏

※詳しくは裏面をご覧ください。

◆報告

いのち
生命のにぎわい調査団の調査から、生きもののネットワークを考える。

千葉県生物多様性センター 副主幹 柴田 るり子

「生物多様性ちば企業ネットワーク」参加企業の取組紹介等

千葉県生物多様性センター 及び
「生物多様性ちば企業ネットワーク」参加企業

第12回 企業と生物多様性セミナー申込書

企業名		業種	
連絡先	TEL	E-mail	
参加者の所属 職・氏名	_____		

杉本 信幸 (すぎもとのぶゆき) 氏



味の素 (株) 環境・安全部 兼 CSR部 専任部長

1982年 味の素(株) (中央研究所 (微生物バイオ関連研究) 入社。川崎工場を経て、1986年よりインドネシアにおいて新工場設計建設から現地企業技術指導に従事。1991年に生産技術研究所に戻り、Univ. of California, Berkeley, Business Extensionに留学。その後、九州工場技術部をへて、マレーシア味の素(株)に出向。新事業担当取締役就任。BCSDM (持続可能な発展のための産業人会議マレーシア組織) メンバーとなる。2001年より味の素(株)環境・CSR統轄部門でグループの環境・サステナビリティ戦略、コミュニケーションを主に担当し、現在に至る。近年は、特に、生物多様性の保全と生態系サービスの持続可能な利用に注力。早稲田大学大学院理工学研究科博士前期課程 (応用生物化学) 修了。

講演要旨

21世紀は地球社会全体で持続可能な自然共生社会を目指す時代となった。生物多様性条約「『愛知ターゲット』目標4：ビジネスと生物多様性」に示されている通り、産業界の果たすべき役割は非常に大きく、期待も大きい。CSVがかくも注目され、金融のメインストリームで自然資本・生態系サービスが大いに語られるところである。つまり、各企業にとっては、自社の事業活動の在り方を持続可能なビジネスモデルへ変革していくことが、自らの事業継続と発展を図るために必須なこととなりつつある。このような中、味の素グループは、事業活動を通じて人と地球の未来に貢献し、100年先も地球と生きるために、すべての事業活動において“いのちのために働く”ことを加速している。ここに至った考えの経緯と取り組みの事例をご紹介します。

■ 会場案内図 ■

東京情報大学

千葉ステーションキャンパス

千葉市中央区新町18-10

千葉第一生命ビルディング6階

■ 事前申込制 ■

表面下部の必要事項を記載の上、千葉県自然保護課生物多様性センター企業セミナー担当宛に、メール 又は FAXでお申し込み下さい。

締切り：2月12日(水) (必着)

Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

Fax 043(265)3615



【注】 駐車場はありません